

23 年産水稻生育中の放射能検査結果のお知らせ(第 2 弾)

農産物直売所「みずほの村市場」では、原発事故による農産物の放射能汚染を受けて、リスクの高い全品目の放射線量を測定しています。

放射能汚染が心配されている 23 年産新米を生育段階からの調査結果をご報告致します。前回、みずほに出荷する米農家の中から土壌汚染が一番多い龍ヶ崎市の農家の水稻で行いました。その結果、土からはセシウムが 452 Bq/kg 検出されましたが、稲穂、茎・葉、根からは非検出でした。

今回は、みずほの米農家の中で一番収穫の早い(8 月下旬予定)桜川市の農家の水稻を調査しました。



測定は、稲を刈り取り、半日ほど天日乾燥し脱穀した「モミ」と「わら」、さらに土壌を計測しました。それぞれ場所の異なる 2 か所の田んぼで実施し、

いずれも「モミ」と「わら」からは不検出でした。

土壌からはセシウムがそれぞれ 45 Bq/kg、48 Bq/kg となりました。

1.測定協力 茨城大学 応用粒子線科学専攻 高妻孝光教授

2.本件に関する問い合わせ先

株式会社みずほ

生産研究部長 高橋広樹

TEL090-2442-1459 takahashi@mizuhonomuraichiba.com

<http://mizuhonomuraichiba.com>